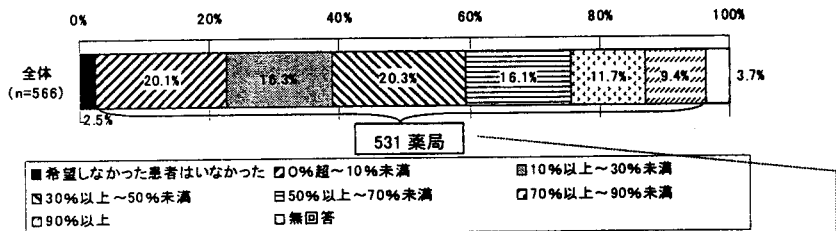
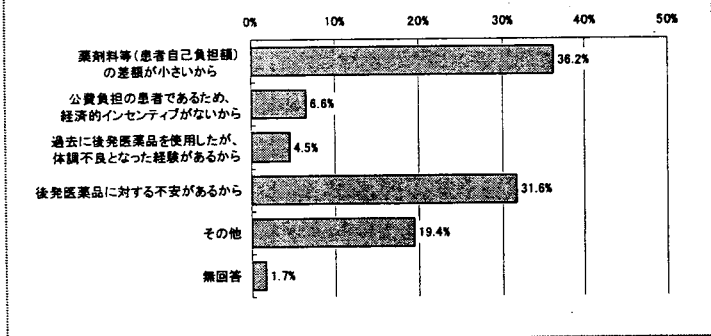


7) 後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

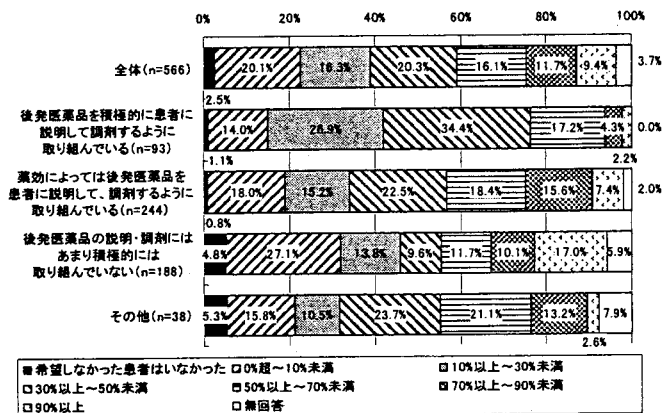
図表 35 後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合 (薬局数ベース)



図表 36 後発医薬品についての説明を行ったが、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由 (単数回答、n=531)

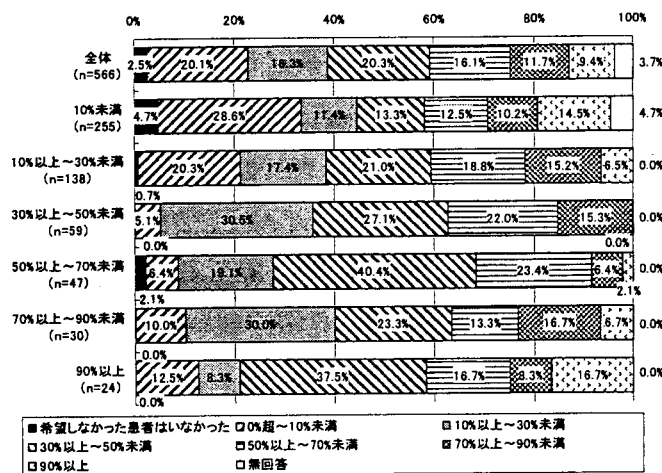


図表 37 後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合 (後発医薬品の調剤に関する考え別、薬局数ベース)



※全体には「後発医薬品に関する考え方」が無回答だった3施設が含まれる。

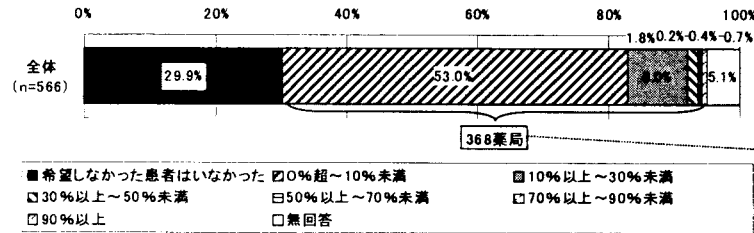
図表 38 後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合 (後発への変更が可能な処方せん持参患者のうち後発への変更をすすめた患者割合別、薬局数ベース)



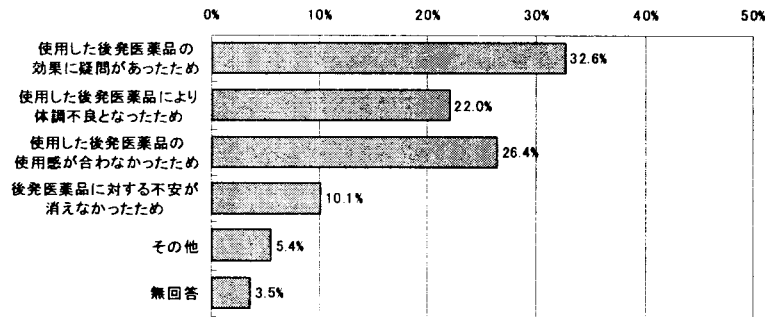
※全体には「後発への変更が可能な処方せん持参患者のうち後発への変更をすすめた患者割合」が無回答だった13施設が含まれる。

8) 後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（平成21年4月以降）

図表 39 後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（平成21年4月以降）

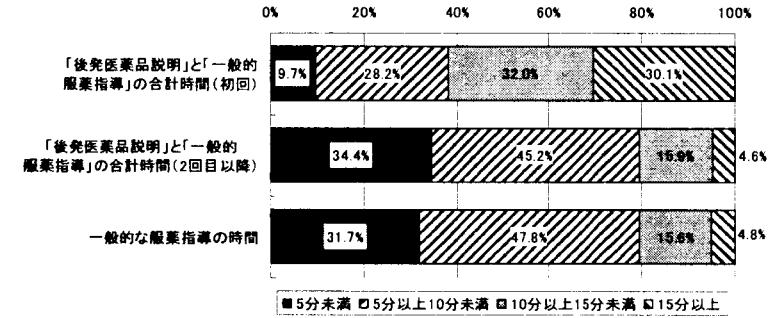


図表 40 後発医薬品への変更調剤を行ったが、患者が2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由（単数回答、n=368）



9) 患者1人に要する後発医薬品についての平均説明時間

図表 41 患者1人に要する平均説明時間の分布（n=372）

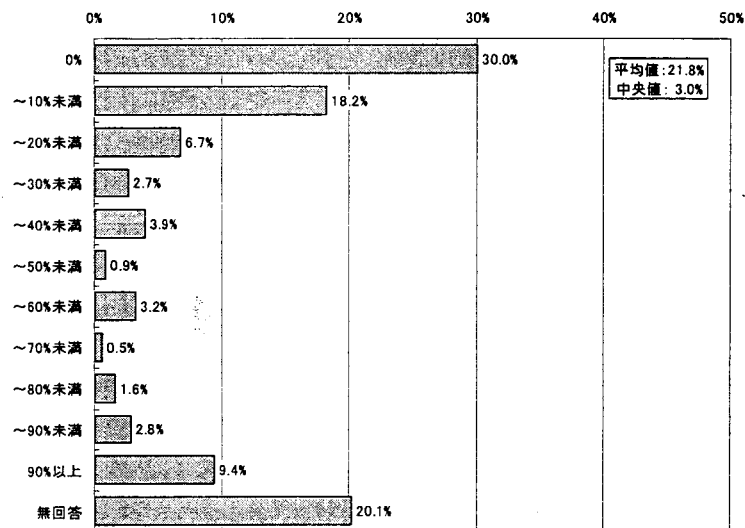


図表 42 患者1人に要する平均説明時間（n=372）

	平均値	標準偏差	中央値
後発医薬品説明+服薬指導時間(初回)(分)	10.8	6.8	10.0
後発医薬品説明+服薬指導時間(2回目以降)(分)	5.7	4.0	5.0
一般的な服薬指導時間(分)	5.8	3.4	5.0

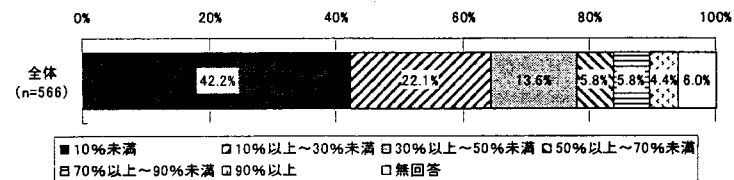
10) 平成 21 年 4 月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方に切り替えた患者数の割合（薬局数ベース）

図表 43 平成 21 年 4 月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方に切り替えた患者数の割合（薬局数ベース、n=566）



11) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、当該後発医薬品を直に取り揃えることができずに後発医薬品に変更できなかった患者の割合

図表 44 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、当該後発医薬品を直に取り揃えることができずに後発医薬品に変更できなかった患者の割合（薬局数ベース）



④備蓄医薬品の状況

1) 医薬品の備蓄品目数

図表 45 備蓄医薬品目数の変化 (n=398)

		平成 20 年 7 月	平成 21 年 7 月	増加率
医薬品全品目数 (A)	平均値	837.2	889.5	6.2%
	標準偏差	384.3	411.5	
	中央値	794.0	814.5	2.6%
うち、後発医薬品の品目数 (B)	平均値	117.4	145.0	23.5%
	標準偏差	104.9	123.5	
うち、複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品の品目数	平均値		15.7	
	標準偏差		38.7	
(B)/(A)	平均値		14.0%	16.3%
	中央値		11.3%	12.8%

※すべての項目について回答があった施設を対象に集計した。

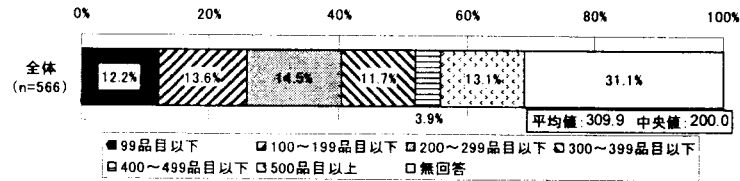
2) 同じ剤形の後発医薬品が薬価収載されていない、先発医薬品の備蓄品目数

図表 46 同じ剤形の後発医薬品が薬価収載されていない、先発医薬品の備蓄品目数

	平均値	標準偏差	中央値
先発医薬品がOD錠 (n=402)	3.7	6.7	2.0
OD錠以外 (n=321)	87.5	166.8	2.0

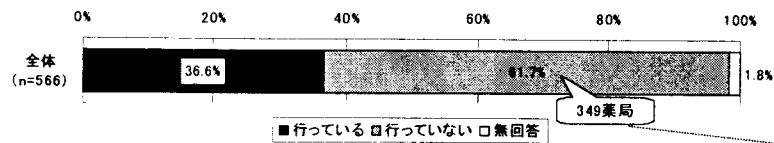
3) 在庫がなく後発医薬品に変更できないケースをないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数

図表 47 在庫がなく後発医薬品に変更できないケースをないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数

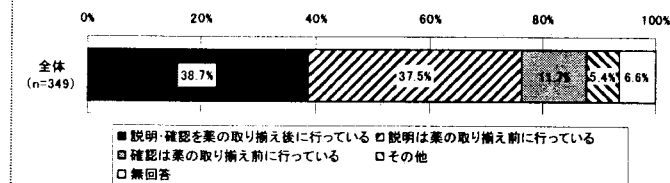


4) 処方せん受付時に患者に対して、「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」の両方を行っているか

図表 48 処方せん受付時に患者に対して、「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」の両方を行っているか



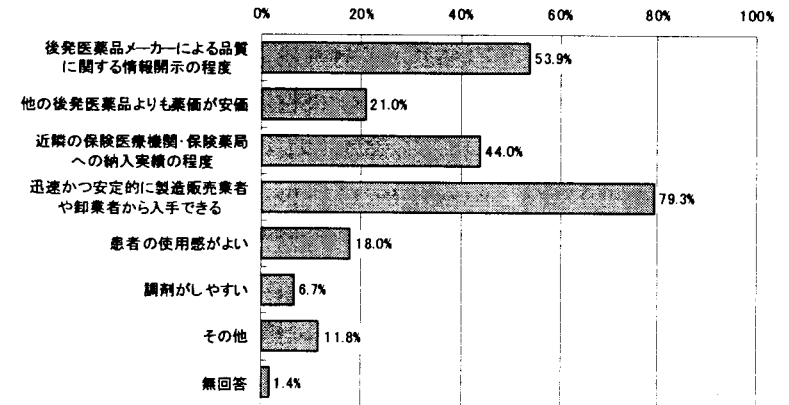
図表 49 患者に対して「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」を行うタイミング



⑤後発医薬品への変更を進めるための要件

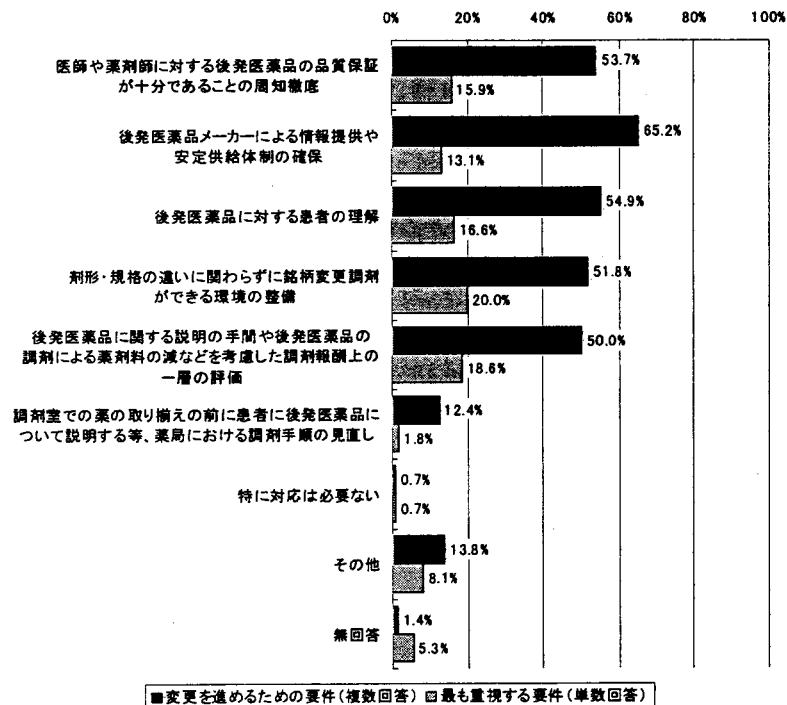
1) 採用している後発医薬品を選択した理由

図表 50 採用している後発医薬品を選択した理由 (複数回答、n=566)



2) 薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件

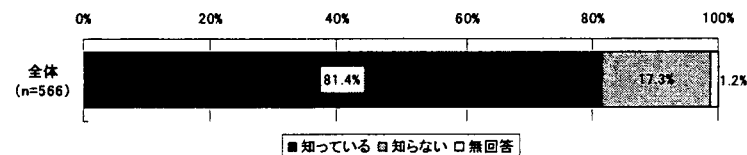
図表 51 後発医薬品への変更が可能な処方せんを受け付けたが、変更しなかった場合について、今後、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件(n=566)



⑥「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度等

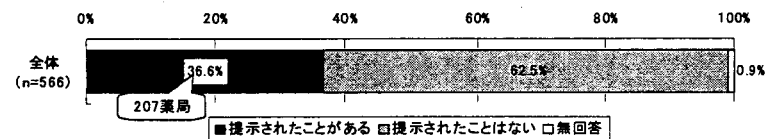
1) 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度

図表 52 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度



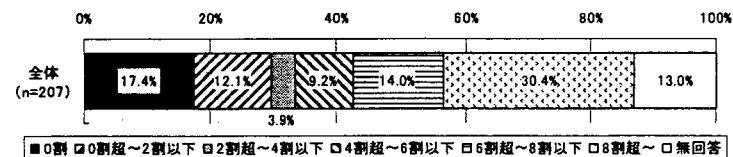
2) 「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験の有無

図表 53 「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示された経験の有無



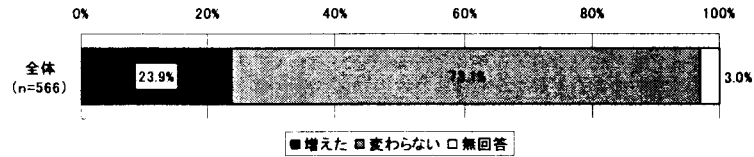
3) 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示した患者における、先発医薬品から後発医薬品に変更調剤を行った患者の割合

図表 54 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示した患者における、先発医薬品から後発医薬品に変更調剤を行った患者の割合 (提示されたことがある薬局のみ)



4) 「ジェネリック医薬品希望カード」配布開始後（平成21年4月以降）における後発医薬品を希望する患者数の変化

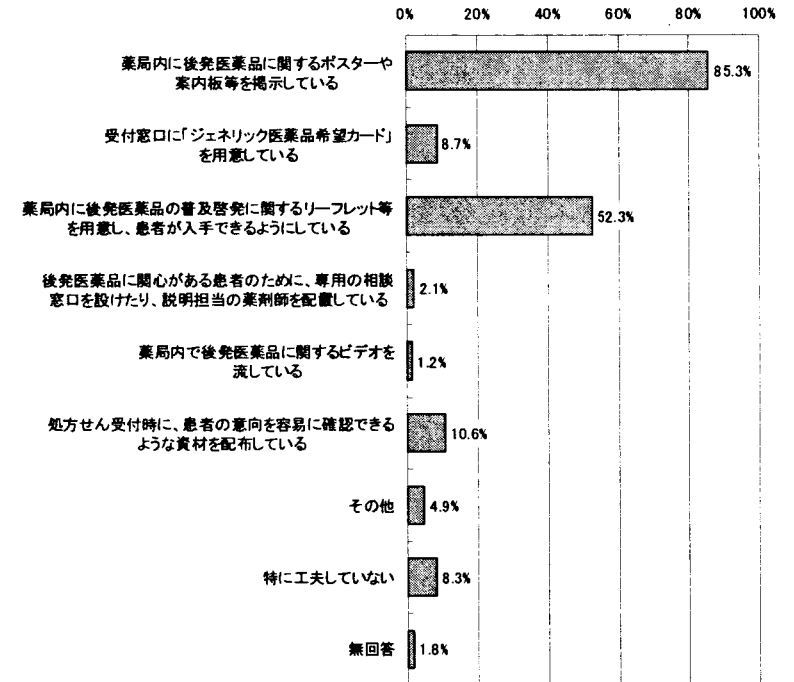
図表 55 「ジェネリック医薬品希望カード」配布開始後（平成21年4月以降*）における後発医薬品を希望する患者数の変化



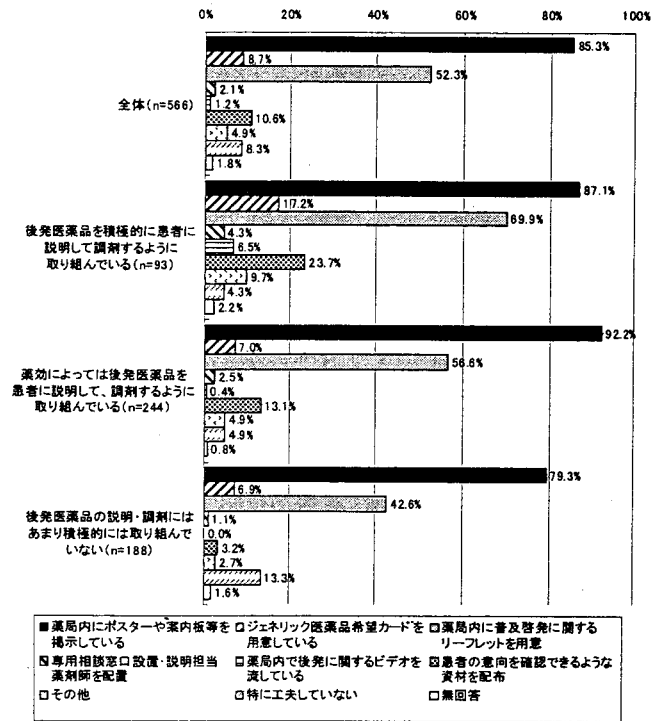
*平成21年4月以降、被保険者に「ジェネリック医薬品希望カード」が順次配布されるようになった。

5) 患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫

図表 56 患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫（複数回答、n=566）



図表 57 患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫
(後発医薬品の調剤に関する考え別、複数回答)



⑦後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 58 7/21~27に後発医薬品に変更して調剤された処方せん (5,964 枚) の状況

	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	985.9	1628.3	486.0
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	790.9	1428.0	352.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%)	80.2		72.4

図表 59 患者一部負担金割合別にみた、7/21~27に後発医薬品に変更して調剤された処方せん (5,964 枚) の状況

	患者一部負担金割合					
	全体	0割	1割	2割	3割	10割
処方せん枚数(枚)	5,964	643	1,648	35	3,624	10
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	985.9	959.7	1,147.6	505.9	924.2	309.9
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	790.9	852.0	935.1	434.0	720.0	207.3
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%)	80.2	88.8	81.5	85.8	77.9	66.9

(注) 患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん4枚が含まれる。

⑧後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等

【後発医薬品メーカーについて】

- ・ 後発医薬品メーカーが多すぎる。どのメーカーを信頼できるのか分からない。メーカーを選ぶ基準が分からない。
- ・ 後発医薬品メーカーのMRの訪問がなく、情報が不足している。
- ・ 先発医薬品大手メーカーは、自社プラントで合成から製剤まで製造の足どりがはっきりしている。しかし後発医薬品のみメーカーは、自社で全て行っているのか不明である。
- ・ 後発医薬品メーカーの副作用モニタリング等の整備が必要だ。

／等

【医師との関係】

- ・ 医師の中には、「後発医薬品への変更可能な処方せんを出すか、変更はしないか」と口頭で指示してくるケースがある。
- ・ 医師側で後発医薬品への変更がされていけばスムーズに進むと思う。薬剤師が説明しても「先生の出したままで」という意見をたくさん聞く。
- ・ 後発医薬品に変更する際に薬剤師が直接医師と会話できればスムーズに事が進むと思う。

／等

【薬局の在庫負担】

- ・ 後発医薬品の在庫数増加による経済的リスクが増加している。
- ・ 分錠してくれる卸が少ないため、少量で備蓄することができない。患者の求めに応じて後発医薬品をすぐに供給できない。

／等

【薬局の負担】

- ・ 後発医薬品に変更した場合の医療機関への情報提供が負担である。
- ・ メーカーからのデータの公表（溶出試験等）が遅いため、採用薬を決めるのに、時間がかかる。また、レセコンへの反映にも時間を要するために、薬局の従業員への教育が手間取ってしまう。
- ・ 後発医薬品を選択した患者と先発医薬品を選択した患者を区別して、毎回きちんと調剤するにはかなりの神経を使う。非常に調剤過誤を起こしやすい状態である。何重にもチェック機能を入れて過誤を防ぐようにしている。

／等

【処方せん様式】

- ・ 後発医薬品の使用を促進するためには処方せんへの薬剤名記入は、商品名ではなく一般名記入を基本にすべきだと思う。
- ・ 処方せんの「後発医薬品への変更がすべて不可」欄をなくし、薬局サイドで自由に後発

医薬品へ変更できるようにしてほしい。

／等

【後発医薬品の品質】

- ・ ある特定の薬剤では効果が出ずに、先発医薬品に戻すケースが続いている。
- ・ 貼付薬などでは、ベトベト感、使用感等についても患者から指摘されたものがある。
- ・ 抗癌剤などの品目では同等性の評価項目を血中濃度や溶出性試験だけでなく、臨床評価での効果確認、副作用発現頻度に関する報告も含めて欲しい。
- ・ 学会等で後発医薬品の安定性、同等性（薬効）のネガティブなデータがたくさんある現況で薬剤師が後発医薬品に進んで変更しようとは思わない。

／等

【患者の希望】

- ・ 患者の後発医薬品に対する不安感というものが多く残っていると日々の業務で感じる。特に慢性疾患で何十年も同じ薬を服用している患者に多いような気がする。
- ・ 金額が変わらないのであれば、先発医薬品を希望する1割負担や負担なしの患者がいる。
- ・ 後発医薬品を知っている人は後発医薬品を希望するが、知らない人は、説明しても聞く耳もたずといった感じで希望しない。高齢者ほど後発医薬品の使用頻度は低く、興味を持ってくれない。
- ・ 平成20年4月以降はそれ以前と比較すると明らかに「後発医薬品」「ジェネリック」という言葉は浸透し、後発医薬品の使用量も増えている。

／等

(3) 診療所・病院・医師調査の結果概要

【調査対象等】

○診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：724施設

回答者：開設者・管理者

○病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院

回答数：362施設

回答者：開設者・管理者

○医師調査

調査対象：上記「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師

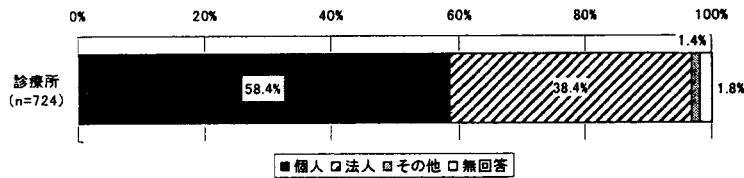
1施設につき、診療科の異なる医師2名

回答数：465人

①診療所の施設属性

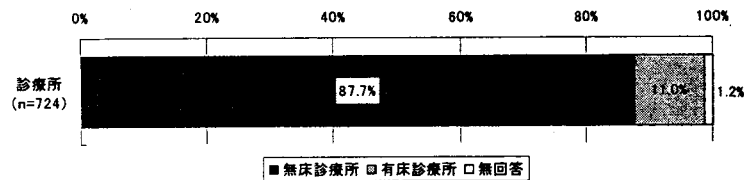
1) 診療所の開設者

図表 60 診療所の開設者



2) 診療所の種別

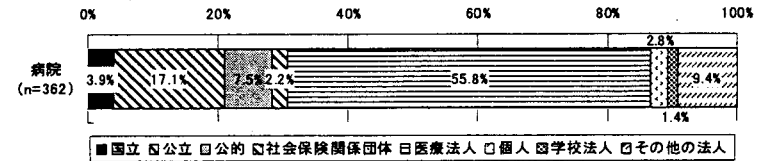
図表 61 診療所の種別



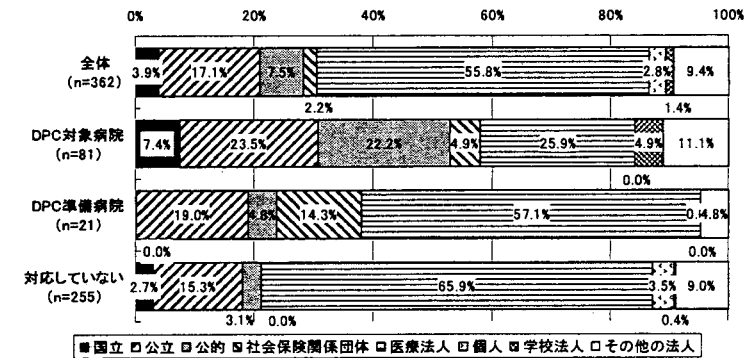
②病院の施設属性

1) 病院の開設者

図表 62 病院の開設者



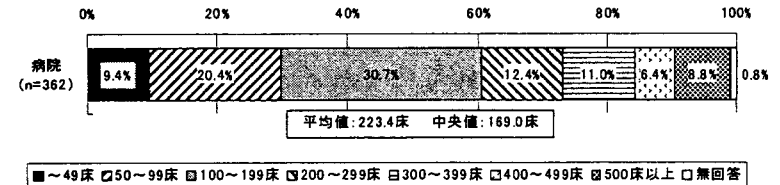
図表 63 病院の開設者 (DPC対応別)



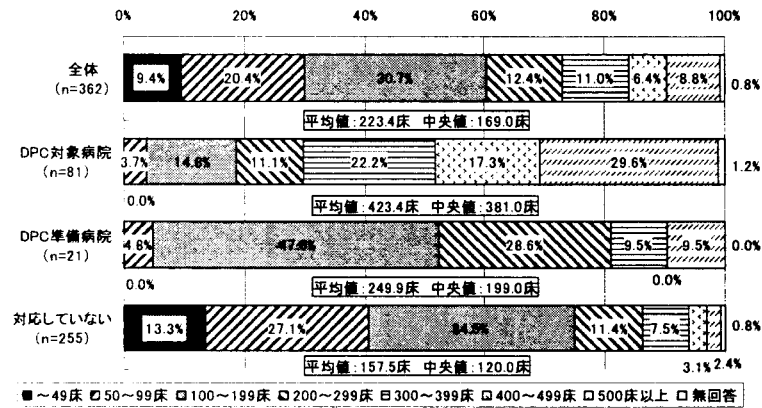
※全体には「開設者」が無回答だった5施設が含まれる。

2) 病院の病床規模

図表 64 病院の病床規模



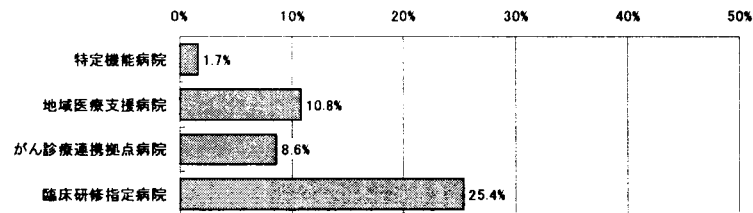
図表 65 病院の病床規模 (DPC 対応別)



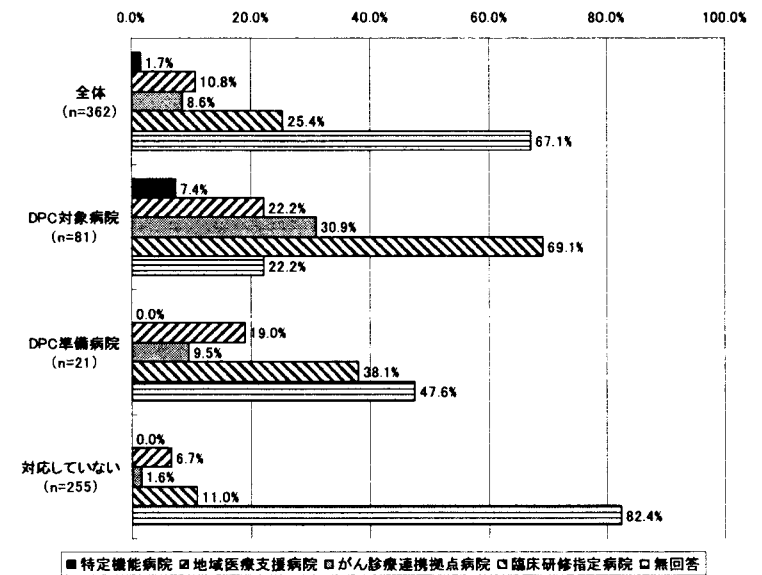
※全体には「病床規模」が無回答だった5施設が含まれる。

3) 病院の種別

図表 66 病院の種別 (複数回答、n=362)



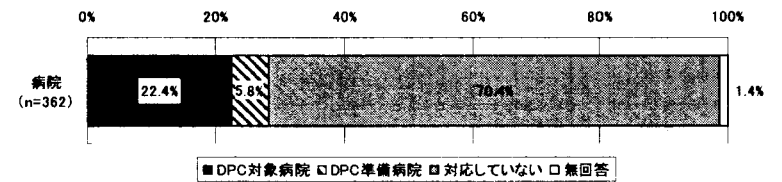
図表 67 病院の種別 (DPC 対応別)



※全体には「病院の種別」が無回答だった5施設が含まれる。

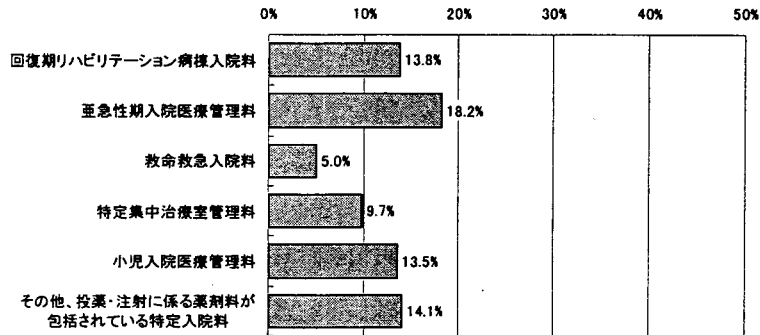
4) DPCの対応状況

図表 68 DPCの対応状況



5) 特定入院料の状況

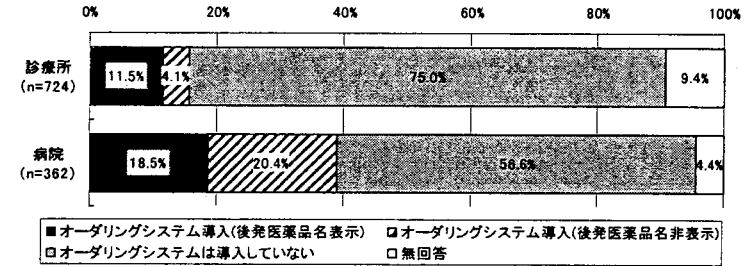
図表 69 特定入院料の状況 (複数回答、n=362)



③オーダーリングシステムの導入状況等

1) オーダーリングシステムの導入状況

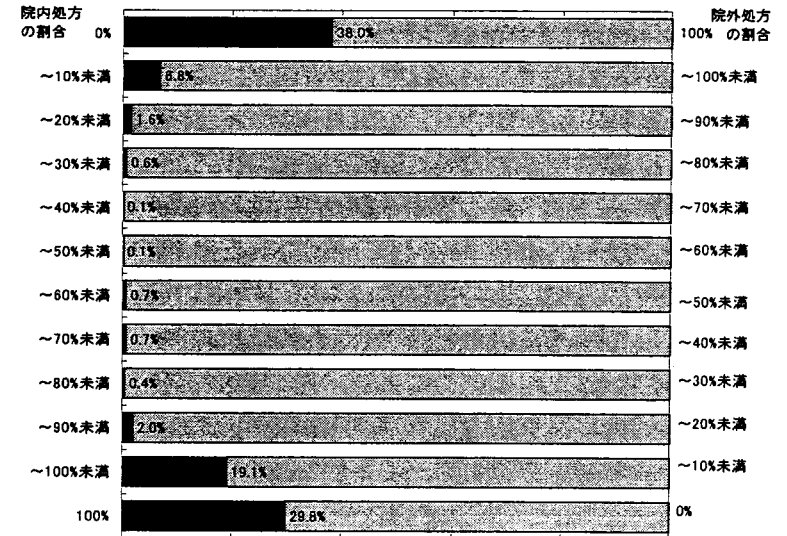
図表 70 オーダーリングシステムの導入状況



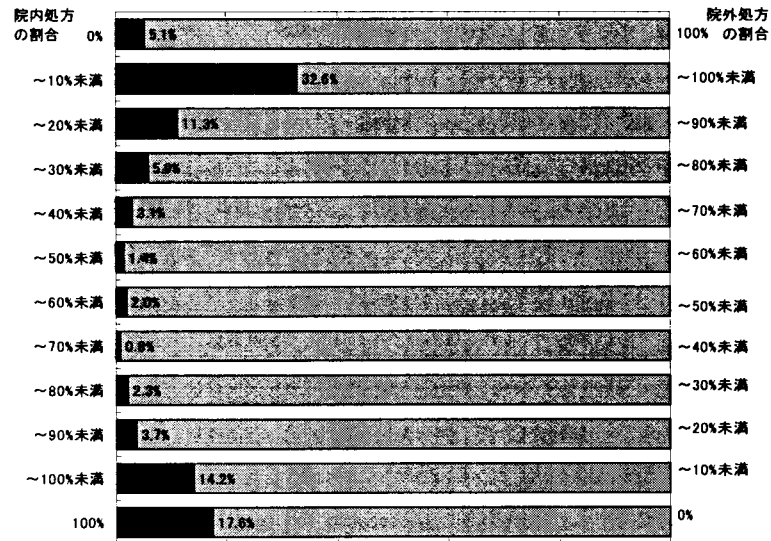
2) 院内処方と院外処方の割合

図表 71 院内処方と院外処方の割合

【診療所】 n=707



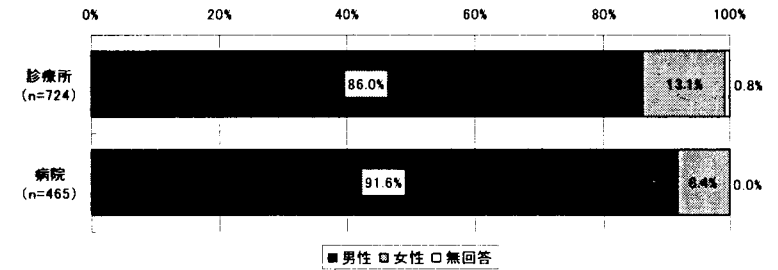
【病院】 n=353



④医師の属性

1) 医師の性別

図表 72 医師の性別



2) 医師の年齢

図表 73 医師の年齢

